資料１

スマート農業実証プロジェクト

内容は８月末の概算要求段階のものであり、
今後の予算編成プロセスで変わりうるものです。

令和元年９月

農林水産省

成長戦略（抜粋）
（令和元年6月21日閣議決定）

７．農林水産業全体にわたる改革とスマート農林水産業の実現

（２）新たに講ずべき具体的施策

ｉ）農業改革の加速

③ **スマート農業の推進**

2022年度までに、様々な現場で導入可能なスマート農業技術が開発され、農業者のスマート農業に関する相談体制が整うなど、スマート農業の本格的な現場実装を着実に進める環境が整うよう、**「農業新技術の現場実装推進プログラム」**（令和元年６月７日農林水産業・地域の活力創造本部了承）にも即し、以下の取組を一体的に進める。

ア）研究開発

- **中山間地を含め様々な地域、品目に対応**したスマート農業技術を**現場で導入可能な価格で提供**できるよう、農業者のニーズを踏まえ現場までの実装を視野に研究開発を行い、地域や品目の空白領域の研究開発を優先的に行う。
- 農業分野におけるAI研究が全国展開され、農業現場の課題解決に貢献するよう、**農業版ICT人材バンクの構築**に向け、農研機構のAI人材を強化し、質の高いAI研究を実施する。

イ）実証・普及

- 全農業大学校で**スマート農業がカリキュラム化**されるよう、スマート農業を取り入れた授業等の順次拡大・充実を図るとともに、農業高校にも展開を図る。
- 農業者の**スマート農業技術の入手機会が拡大**するよう、フォーラム・マッチングミーティング等を各地で開催するとともに、行政手続のオンラインシステムの活用を通じた農業者への直接発信に向け取り組む。
- 各都道府県の主要農産物品目でのスマート農業技術体系の構築・実践を目指し、**スマート農業技術の生産から出荷までの一貫した体系としての実証、産地・品目単位のスマート農業技術体系の構築**等を図る。
- スマート農業機械・システムの**共同利用や作業受委託等の効率利用モデルを提示**するとともに、様々な業種の民間事業者のスマート農業分野への参入を促進するための環境を整備する。

成長戦略（抜粋）
（令和元年6月21日閣議決定）

・全普及指導センターが窓口となった、農業者の**スマート農業に関する相談対応**に向け、普及指導員等による知識や技術活用方法の習得を図る。
・スマート農機の実用化に合わせ、必要な**安全性ガイドラインを整備**する。

ウ）環境整備
・自動走行農機やICT水管理等の**スマート農業に対応した農業農村整備**の展開に向けた検討・開発を進めるとともに、**情報ネットワーク環境整備**に向け取り組む。
・中山間地におけるスマート農業の実現を念頭に置いた農場の整備や、果樹農業等の特性に応じた環境の整備を図る。
・**農業データ連携基盤において多様なデータの蓄積・提供**を進めるとともに、農業生産のみならず加工・流通・消費にまで拡張した**スマートフードチェーンシステムの構築**に向けた開発を進める。
・食品等流通法の計画認定制度を活用し、**食品流通プラットフォームの立上げ**を後押しするとともに、物流、商品管理、決済の各分野において、データの共有・活用や省人化・省力化の取組を推進し、各取組のプ ラットフォームの実装を図る。

3．モビリティ
（２）新たに講ずべき具体的施策
ⅲ）陸海空の様々なモビリティの推進、物流改革
① 空における次世代モビリティ・システムの構築
・特に農林水産分野においては、農薬散布や肥料散布、播種、受粉、収穫物運搬、センシング、農地・農業水利施設の保全・管理、鳥獣被害対策等にドローンを積極的に活用していくため、**農業用ドローンの普及計画**に基づき、農業用ドローンの普及拡大に向けた官民協議会を通じ、**目視外飛行の拡大に向けた取組を含む技術開発や実証**を行いつつ、**先進事例の普及やルールの見直し**を進める。

スマート農業実証プロジェクト　実証農場

北海道

1 白石農園
2 ㈲新田農場ほか
3 ㈱鹿中農場
4 岡田農場
5 ㈱エア・ウォーター農園ほか
6 TMRセンターアクシス&漆原牧場

東北

青森
7 ㈱十三湖ファーム
8 おとべ農産合同会社

岩手
9 ㈱アンドファーム

宮城
10 ㈲アグリードなるせ
11 仙台ターミナルビル㈱荒井事業所

秋田
12 ㈲たねっこ
13 園芸メガ共同利用組合

山形
14 沼澤農場

福島
15 ㈱紅梅夢ファーム
16 ㈱アグリ鶴谷

関東甲信・静岡

茨城
17 ㈲横田農場ほか
18 ㈱ライス&グリーン石島

栃木
19 ㈱美土里農園ほか
20 ㈱トマトパーク
21 ㈲グリーンハートティーアンドケイ

千葉
22 ㈲神崎東部

山梨
23 JAフルーツ山梨
24 ㈱ジャパンプレミアムヴィンヤード

長野
25 ㈲田原
26 ㈲トップリバー

静岡
27 ㈲茶夢茶夢ランド菅山園ほか

北陸

新潟
28 ㈱白銀カルチャー
29 ㈲米八
30 ㈲高野生産組合

富山
31 ㈲布目沢営農

石川
32 ㈲夢耕坊

福井
33 ㈱若狭の恵
34 ㈲エコファーム舟枝
35 田中農園㈱

東海

岐阜
36 ㈲巣南営農組合

愛知
37 JA西三河きゅうり部会生産者

三重
38 ㈱オレンジアグリ、㈲すぎもと農園

近畿

滋賀
39 ㈲フクハラファーム

京都
40 ㈲ほづ

兵庫
41 ㈱Amnak

奈良
42 ㈲赤松ハウス柿生産組合ほか

和歌山
43 森川農園ほか

中国・四国

島根
44 ㈲グリーンサポート斐川ほか

岡山
45 ㈱ファーム安井
46 ㈲寄江原

広島
47 ㈲ファーム・おだ
48 ㈱vegeta
49 松岡農園ほか

山口
50 ㈲うもれ木の郷、㈲むつみ

香川
51 ㈱尾野農園

愛媛
52 JAにしうわスマート農業研究会

高知
53 営農支援センター四万十㈱

九州・沖縄

福岡
54 ㈱RUSH FARMほか

佐賀
55 ㈲アグリベースにいやま

長崎
56 JAながさき西海農協させぼ広域かんきつ部会

熊本
57 ㈱東洋グリーンファーム
58 JA阿蘇いちご部会委託部
59 JA熊本市園芸部会茄子部会ほか

大分
60 ㈱オーエス豊後大野ファーム
61 ㈱タカヒコアグロビジネス

宮崎
62 ㈱ジェイエイフーズみやざき
63 ㈲新福青果

鹿児島
64 ㈲土里夢たかた
65 ㈲南西サービス
66 JAそおピーマン部会
67 鹿児島堀口製茶㈲
68 ㈲霧島第一牧場

沖縄
69 アグリサポート南大東㈱

● 水田作（大規模）　● 水田作（中山間）　● 水田作（輸出用）　■ 畑作　■ 露地野菜　◆ 施設園芸　◆ 花き　◆ 果樹　◆ 茶　◆ 畜産

※令和元年度～２年度で実証

スマート農業総合推進対策事業

【令和2年度予算概算要求額　5,093（505）百万円】

＜対策のポイント＞
スマート農業を総合的に推進するため、**先端技術の現場への導入・実証**や、地域での戦略づくり、情報発信や教育の推進、農業データ連携基盤(WAGRI)の活用促進のための**環境整備等の取組を支援**します。

＜政策目標＞
農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践［令和７年まで］

＜事業の内容＞

1．スマート農業加速化実証プロジェクト

○　各地域の実情に応じたスマート農業技術体系が構築・実践されるよう、現在の技術レベルで最先端の**ロボット・AI・IoT等の技術の生産現場への導入・実証、技術面・経営面の効果を明らかにする取組を支援**します。

2．スマート農業普及のための環境整備

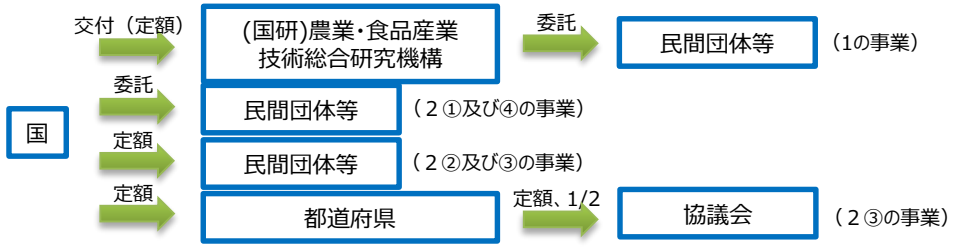
① **農林水産データ管理・活用基盤強化**
農林水産省が保有・収集するデータが農業データ連携基盤（WAGRI）においてより活用されるよう環境整備を行います。

② **農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討**
自動走行など農業用先端ロボットの現場導入の実現に向け、**安全性確保についてのルールづくりや技術の検証を支援**します。

③ **次世代につなぐ営農体系確立支援**
産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた**新たな営農技術体系構築の戦略づくり、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの横展開、情報発信等の取組を支援**します。

④ **スマート農業教育推進**
農業大学校等においてスマート農業のカリキュラム化を推進するため、授業で活用できる**教育コンテンツや高度な実習の機会を提供**します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

スマート農業の社会実装・実践

［お問い合わせ先］農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-7462）

スマート農業総合推進対策事業のうち

スマート農業加速化実証プロジェクト

【令和2年度予算概算要求額　3,511（505）百万円】

＜対策のポイント＞

農業者の生産性を飛躍的に向上させるためには、**先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装**の推進が急務です。このため、**現在の技術レベルで最先端の技術を生産現場に導入・実証**することでスマート農業技術の更なる高みを目指すとともに、社会実装の推進に資する情報提供等を行う取組を支援します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践［令和７年まで］

＜事業の内容＞

１．最先端技術の導入・実証

○　（国研）農業・食品産業技術総合研究機構、農業者、民間企業、地方公共団体等が参画して、スマート農業技術の更なる高みを目指すため、**現在の技術レベルで最先端となるロボット・AI・IoT等の技術を生産現場に導入**し、**理想的なスマート農業を実証**する取組を支援します。

○　福島県における営農再開等に資する実証に取り組む場合等については、採択時の審査で加点を行います（**福島復興支援加算**）。

２．社会実装の推進のための情報提供

○　得られた**データや活動記録等**は、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構が**技術面・経営面から事例として整理**して、**農業者が技術を導入する際の経営判断に資する情報として提供**するとともに、農業者からの相談・技術研鑽に資する取組を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（交付（定額））→ （国研）農業・食品産業技術総合研究機構 →（委託）→ 民間団体等

＜事業イメージ＞

「スマート農業」の社会実装を加速化

［お問い合わせ先］農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-7437）

【参考】昨年度スケジュール

平成30年　８月末　**概　算　要　求**

９月以降　応募を希望する関係者において
技術体系、実施場所等について検討

12月末　**概　算　決　定**

平成31年　１月４日　公募開始
（農研機構のホームページにて募集
府省共通研究開発管理システム（e-Rad）で受付）

２月４日　公募受付締切

審査（２月～３月中旬）

３月20日　採択結果公表

【昨年度公募の詳細（農研機構HP）】
http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/120827.html